

グリーンインフラまちづくりに 役立つ補助制度等

行政は、グリーンインフラの導入を推進する指針や制度を用意していますので、概要や実施主体のリンク先と併せて紹介します。

1 指針等

国



国土交通省
ウェブサイト

グリーンインフラ推進戦略2030 [令和8(2026)年1月 国土交通省]

国土交通省の環境行動計画に係る実行計画で、2030年度までが計画期間です。2030年には「グリーンインフラの活用が当たり前の社会」で、2050年には「自然共生社会」の実現を目指すとしています。グリーンインフラの定義、特徴、実装に向けた留意点等を示すとともに、国土交通省の施策等をまとめています。

グリーンインフラ実践ガイド [令和5(2023)年10月 国土交通省総合政策局環境政策課]

グリーンインフラの基本的な考え方や事業のプロセス(計画・設計、施工、維持管理、活用)に着目した実装のポイント等についての、地方公共団体をはじめとする多様な地域主体に向けたガイドです。

グリーンインフラ支援制度集 [毎年更新 国土交通省、農林水産省、環境省]

国土交通省、農林水産省、環境省等の支援制度のうち、グリーンインフラの導入に関連して利用が想定される制度(補助金・助成制度・技術支援等)を紹介しています。対象は、事業者や自治体となります。

グリーンインフラの事業・投資のすゝめ

[令和6(2024)年9月 グリーンインフラの市場における経済価値に関する研究会]

主に地域におけるまちづくり事業者・金融機関に対し、グリーンインフラによる多様な経済効果を示すとともに、投資を促進するための入門書となります。

市 (主な計画等)

第4次名古屋市環境基本計画 [令和3(2021)年9月]

名古屋市環境基本条例に掲げられた「すべての市民の参加と協働により、人と自然が共生することができる健全で恵み豊かな環境を保全するとともに、人と都市の活動を環境への負荷の少ないものに変えていくことにより持続的発展が可能な社会をつくりあげていく」という理念の実現に向け、環境の保全に関する施策を総合的・計画的にすすめるための計画です。本計画においては、「人にも生きものにも住み心地のよいまちの形成」のため、グリーンインフラの取り組みを推進するとしています。



名古屋市みどりの基本計画2030 [令和3(2021)年3月]

都市緑地法に基づく計画。「みどりと人がきらめく 自然共生都市・なごや」をめざし、みどりにより都市力、地域力、持続力の3つの力を高めることを基本方針としています。また、施策展開の方向性のひとつに、グリーンインフラの取り組みの推進を掲げています。



市（主な計画等）

名古屋市都市計画マスタープラン2030 [令和2（2020）年6月]

都市計画法に規定されている都市計画に関する基本方針で、長期的な視点に立ち、将来の都市像やまちづくりの方向性を示しています。



水の環復活2050なごや戦略 [平成21（2009）年3月]

低炭素都市2050なごや戦略 [平成21（2009）年11月]

生物多様性2050なごや戦略 [平成22（2010）年3月]

長期的視点を持った市政のため、健全な水循環の回復、地球温暖化対策、生物多様性の保全の3つの視点から、2050年のめざす都市像等を示しています。それぞれに中期的な取り組み等を記載した実行計画があります。



左から「水の環復活」、「低炭素都市」、「生物多様性」の各戦略の本市ウェブサイトです。

名古屋市地球温暖化対策実行計画2030 [令和6（2024）年3月]

本市が多様な主体との連携のもと、名古屋市域において地球温暖化対策を進めていくための2030年度までの具体的な施策を示しています。また、本計画を地球温暖化対策推進法及び気候変動適応法に基づく法定計画として位置付けています。



水の環復活なごや戦略実行計画2030 [令和7（2025）年3月]

水の環復活2050なごや戦略と第4次名古屋市環境基本計画におけるビジョン、方向性を踏まえ、本市が多様な主体の協力を得ながら、2030年度までに重点的・優先的に取り組む事柄について、より具体的に示しています。



生物多様なごや戦略実行計画2030 [令和5（2023）年10月]

新たな世界目標や国家戦略ができた機会を捉え、本市における生物多様性に関する取り組みの強化と着実な進捗管理をはかるため、本市が2030年までに重点的・優先的に取り組む具体的な事柄やロードマップを定めています。



市（関連する指針等）

名古屋市雨水流出抑制施設設計指針 [平成18（2006）年1月]

名古屋市雨水流出抑制実施要綱に基づいて、設置する貯留施設および浸透施設の計画、設計、施工並びに維持管理に係る一般原則を示すことを目的とした指針となります。グリーンインフラ要素技術のうち、「浸透雨水ます」、「浸透トレンチ」等が対象に含まれます。



なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドライン [令和5（2023）年3月]

本市の都心部を中心とする市街地において、多様な主体と、生きもののすみか・エサ場・休息場所等の配慮を行う生物多様性に配慮した緑化「生物多様性緑化」を進め、生態系を回復させていくための指針となります。

また、「植えていけない／植えることを推奨していない外来種リスト」と「なごや地域在来植物リスト」も参照のうえ、生物多様性緑化を行いましょう。



左から「なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドライン」、「植えてはいけない／植えることを推奨していない外来種リスト」、「なごやの地域在来植物リスト」の本市ウェブサイトです。

Nagoまちスペースづくりのガイドライン [令和5（2023）年3月]

Nagoyaまちなかオープンスペース制度の利用者に向けて、基準の運用と解説を記載したガイドラインとなります。「Nagoyaまちなかオープンスペース制度」については、次ページで紹介しています。



2 補助制度等



グリーンインフラ活用型都市構築支援事業

地方公共団体だけでなく、民間主体の取り組みも一体的に支援するもので、地域におけるグリーンインフラの取り組みを支援する制度です。



グリーンインフラの新技术開発支援事業

グリーンインフラに関する新技术・サービスの開発を促進するため、民間企業等による自然環境の多様な機能を利用する技術で実用段階に達していないものの開発支援を行う制度です。



市（建築関係）

建築物環境配慮制度（CASBEE名古屋）

建築物の環境性能を総合的に評価し、環境に配慮した建物づくりを促進する制度です。条例に基づき、床面積2,000m²を超える建築物の新築・増築をする建築主に対し、届出を義務付けています。グリーンインフラの要素技術では、「屋上・壁面緑化」、「生きものへの配慮（一部）」、「雨水タンク」等が含まれます。



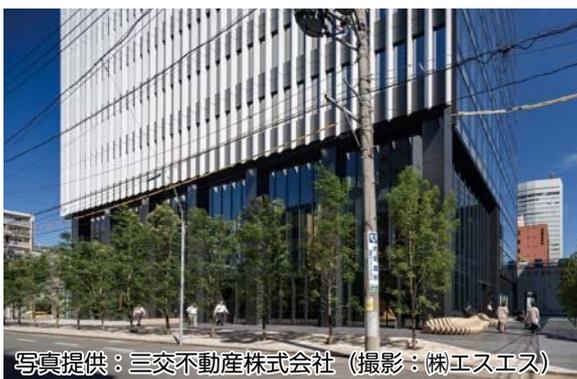
Sランク事例



Nagoya まちなかオープンスペース制度

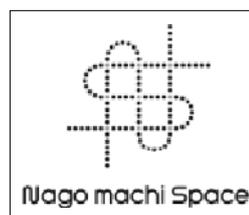
都心部に緑や広場等憩い・賑わいのある空間を形成するため、従来の公開空地等の制度を見直したものです。

オープンスペースの評価にあたり、「NICE GREENなごや」の認定取得を推奨項目のひとつとしています。



写真提供：三交不動産株式会社（撮影：株エスエス）

制度活用事例



本制度のロゴマーク



市（緑化関係）

みどりの補助金（名古屋市 民有地緑化助成事業）

「あいち森と緑づくり税（県民税）」を財源に、緑豊かな景観の創出と都市環境の改善を積極的に推進するため、質・量ともに優れた民有地の緑化工事に対して助成を行っています。



名古屋市環境保全・省エネルギー設備資金融資

中小企業が、名古屋市内で公害防止や省エネルギー推進等の環境保全対策を実施するための資金を長期かつ低金利で融資する制度です。

グリーンインフラでは、「緑化の推進（建築物・施設および敷地の緑化等）」「雨水の浸透・保水（透水性・保水性舗装等）」が対象に含まれます。



市（雨水流出抑制関係）

雨水流出抑制施設設置補助金

雨水流出抑制施設である雨水タンクと浸透雨水ますの設置に対して助成する制度です。市民・事業者による雨水流出抑制を推進しています。



雨水タンク

雨水を雨どいから分岐し、タンクに貯めます。庭の水やり等に有効利用することができます。



浸透雨水ます

穴の開いたますから、集めた雨水を地中にしみ込ませます。



※詳細はP.51・53へ

3 認定制度

国

優良緑地確保計画認定制度（TSUNAG）

都市緑地法に基づき、国土交通大臣が民間事業者等による良質な緑地確保の取り組みを、気候変動対策・生物多様性の確保・Well-beingの向上等の「質」と緑地の「量」の観点から評価・認定する制度です。



【TSUNAG事例】
グラングリーン大阪



自然共生サイト

ネイチャーポジティブの実現に向けて、生物多様性の維持・回復・創出を目指し、企業・自治体・団体等が策定した活動計画の実施区域のことで、「地域生物多様性増進法」に基づき、国が認定します。



(株)三五
ECO35の森



(株)テクノ中部
本店ビル屋上ビオトープ



※ P.36でも紹介しています。

市

NICE GREEN なごや

申請により、市内の建築物の敷地内等で整備される緑化施設の内容を、市が一定の基準により評価し、ランクを認定する制度です。認定ランクに応じて認定証や認定ラベルが発行されます。住宅ローン融資の優遇や補助金の交付等が受けられる場合があります。



本ガイドをここまで読んでくださり、ありがとうございました。
グリーンインフラまちづくりに、ぜひあなたの力を貸してください。

名古屋市公式ウェブサイト
なごやグリーンインフラまちづくりガイドのページ



名古屋市 グリーンインフラまちづくり推進会議
(総務局、環境局、住宅都市局、緑政土木局、上下水道局)
事務局 環境局環境企画部環境企画課
電話：052-972-2684
メールアドレス：a2684@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

